

# 東北地方 1か月予報

(9月28日から10月27日までの天候見通し)

平成14年9月27日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

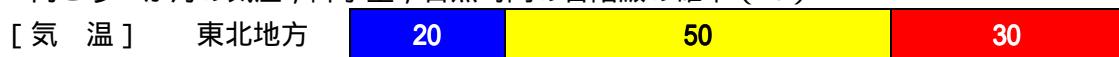
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 9月28日(土)～10月27日(日)

1週目 : 9月28日(土)～10月4日(金)

2週目 : 10月5日(土)～10月11日(金)

3～4週目 : 10月12日(土)～10月25日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日14時30分 次回は10月4日

3か月予報 : 10月21日(月)14時00分

寒候期予報 : 10月10日(木)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	14.4	147.0	140.6	16.6	15.2	13.2
新庄	13.1	141.9	103.3	15.7	14.0	11.7
若松	13.9	78.2	116.1	16.6	15.0	12.6
深浦	14.0	159.0	136.2	16.3	14.8	12.8
青森	13.3	98.6	151.4	15.8	14.1	12.0
むつ	12.9	115.0	156.9	15.2	13.7	11.7
八戸	13.4	76.4	157.7	15.7	14.2	12.2
秋田	14.3	149.7	146.8	16.8	15.1	13.0
盛岡	12.5	94.6	144.5	15.0	13.4	11.2
宮古	13.7	118.6	148.9	15.9	14.5	12.6
酒田	15.3	162.7	141.1	17.6	16.1	14.2
山形	13.9	76.8	126.7	16.4	14.8	12.6
仙台	15.5	111.9	143.4	17.7	16.3	14.3
石巻	14.8	108.9	151.7	17.1	15.7	13.7
福島	15.4	103.9	132.5	17.8	16.3	14.2
白河	13.8	119.9	134.7	16.1	14.7	12.6
小名浜	16.7	162.3	145.5	18.7	17.4	15.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.2	78~ 108	95~ 104
東北日本海側	-0.5~+0.2	83~ 112	95~ 104
東北太平洋側	-0.4~+0.2	69~ 113	96~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.5	-0.6~+0.6	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.6~+0.5	-0.6~+0.6	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.5~+0.5	-0.6~+0.6	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成14年9月27日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(9月28日～10月27日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(9月28日～10月4日)：

期間の初めと終わりは、気圧の谷の影響で天気がくずれるでしょう。その他の日は、東北南部では前線の影響で曇る日が多いですが、東北北部はおおむね晴れる見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(10月5日～10月11日)：

天気は周期的に変化するでしょう。寒気の影響で一時気温が低くなる見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4週目(10月12日～10月25日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。低気圧の通過後は寒気の影響で、東北日本海側ではしぐれる所がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

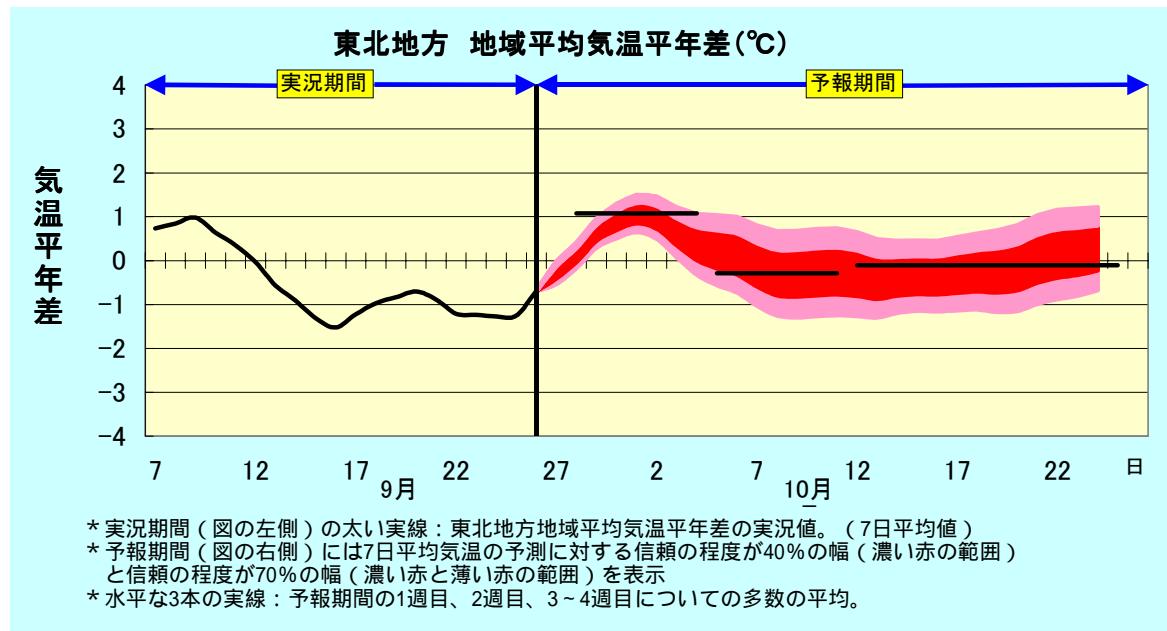
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.7日	3.6日	3.5日	6.6日
東北太平洋側	15.5日	3.6日	3.7日	8.2日

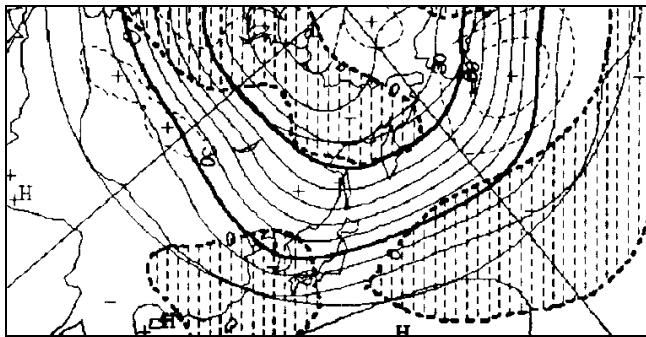
## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目、3～4週目は「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」に変更する他は、数値予報どおりとする。  
なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



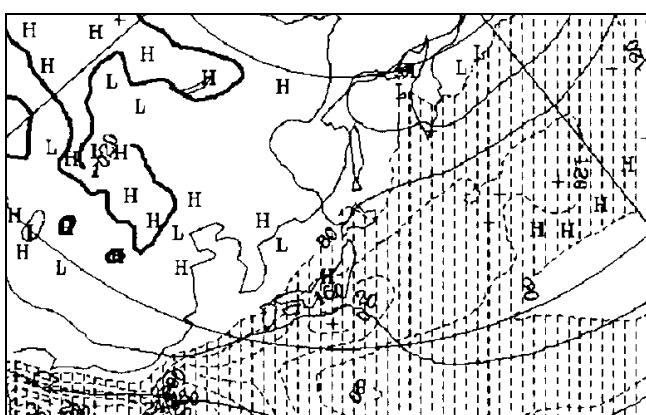
月平均の 500hPa 高度・偏差

等高度線：60m 每、偏差：30m 每、陰影部：負偏差

### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、東シナ海から西日本にかけて負偏差に覆われ、朝鮮半島付近が気圧の谷となる。偏西風の流れは順調で、天気はおおむね周期変化する見込み。

週別（図略）では、1週目は朝鮮半島付近が気圧の谷となり、日本付近は西谷傾向。2週目は日本付近は広く負偏差となり、寒気の影響を受ける時期がある見込み。3~4週目は日本付近は正偏差となる。



月平均の地上気圧と降水量

等圧線：4hPa 每、降水量：40mm 每、陰影部：80mm 以上

### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、東北地方は東西に広がる高圧帯に覆われる。東北地方には弱い降水域がかかっているが、降水の中心は日本の南海上。

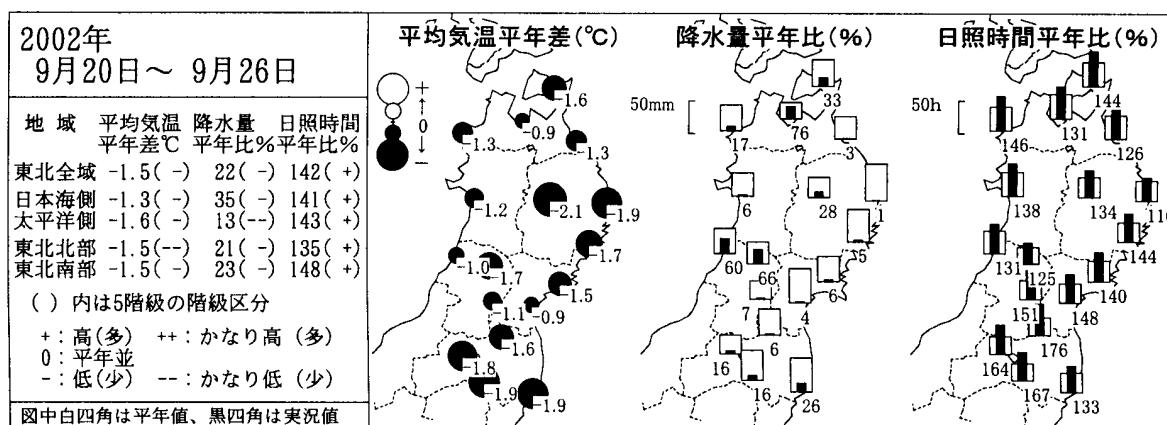
週別（図略）では、1週目は日本の南海上から広がるややまとまとった降水域が東北地方にかかる。2週目は日本付近が低圧部となるが、東北地方にかかる降水は1週目より弱まる。3~4週目は、大陸の高気圧が東シナ海まで張り出してくる。北海道から東北地方の日本海側には、しぐれに対応する降水域が予想される。

### 4. 最近1週間（9月20日～9月26日）の天候の経過

22~24日は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となつたが、その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れた。また、寒気が南下したため、東北地方は低温となつた。

なお、24日には大気の状態が不安定となり、秋田県で落雷や強風による被害が発生した。

平均気温は、東北北部で平年差-1.5とかなり低く、東北南部で平年差-1.5度と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比35%と少なく、東北太平洋側で平年比13%とかなり少なかった。日照時間は、東北地方で平年比142%と多かつた。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）